



2018年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 2018年3月期 第1四半期決算レビュー
- 2018年3月期 経営方針
- 2018年3月期 第1四半期主要事業進捗
- 2018年3月期 通期業績見通し



2018年3月期 第1四半期決算レビュー

創業来18期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

「第4次産業革命」の中心的な役割を果たす企業となるため、AI・IoT・Robot分野の研究開発に最大、経常利益がマイナスにならない範囲の積極的投資を実施

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期 実績	2018年3月期 第1四半期 実績	実績 前年比	2018年3月期 通期予想
売上高	798	867	108.7%	4,000
営業利益	212	135	63.6%	1～800
経常利益	212	133	62.9%	1～800
純利益	135	76	56.3%	0.62～496

前回計画より
変更なし

■ 売上成長率及び利益率について

・ 売上の8割以上を占めるストック型のライセンス売上については、IoTプラットフォームサービス（前年比約130%）及びその他サービス（前年比約160%）を筆頭にライセンス数を順調に積み上げることが出来たため、ライセンス収入全体で見ても通期の前年比で120%以上の成長率となっております。

・ 営業利益実績として前年比63.6%となっております。これは、戦略的に開発投資に注力するという期初からの計画通りであり、順調に開発人員（工数）の確保が進んでいる結果であります。引き続き、「第4次産業革命」において中心的な役割を担える企業となるべく、開発投資に注力してまいります。



2018年3月期 経営方針



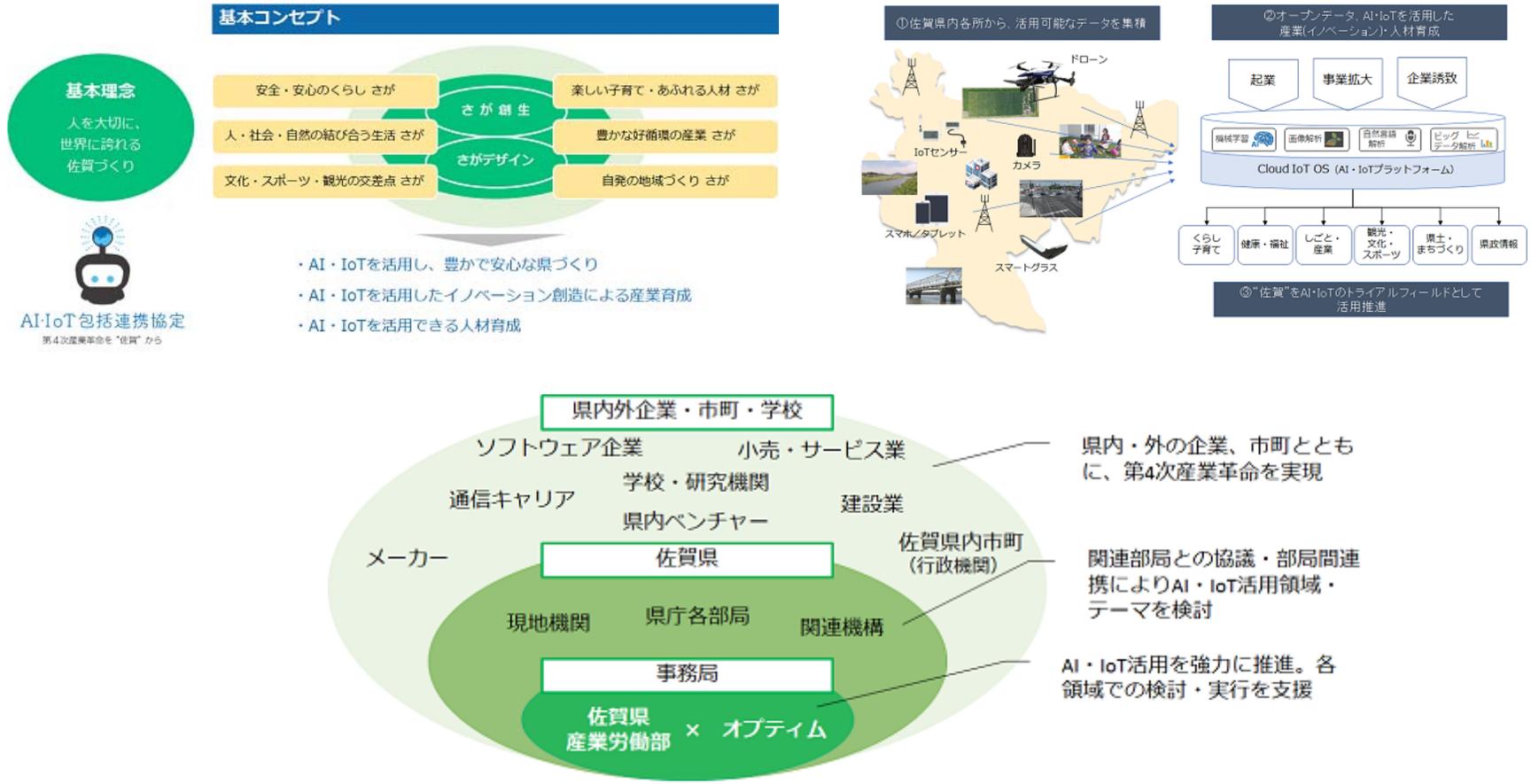
「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において、研究開発への積極投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、足掛かりとなる1年とする

具体的には、ここ数年取り組んできた、各業界・産業とITを融合させる「〇〇×IT」によりITの力で業界・産業基盤を再構築する取り組みを推進していく



2018年3月期 第1四半期主要事業実績

佐賀県とオプティム、「第4次産業革命」実現に向けた AI・IoT活用推進の包括連携協定を締結



コマツ・オプティム・ドコモ・SAPで新会社設立協議を開始 建設生産プロセス全体を包含する新プラットフォーム「LANDLOG」



建設施工会社などの要望に応じて様々なアプリケーションプロバイダーにデータを提供

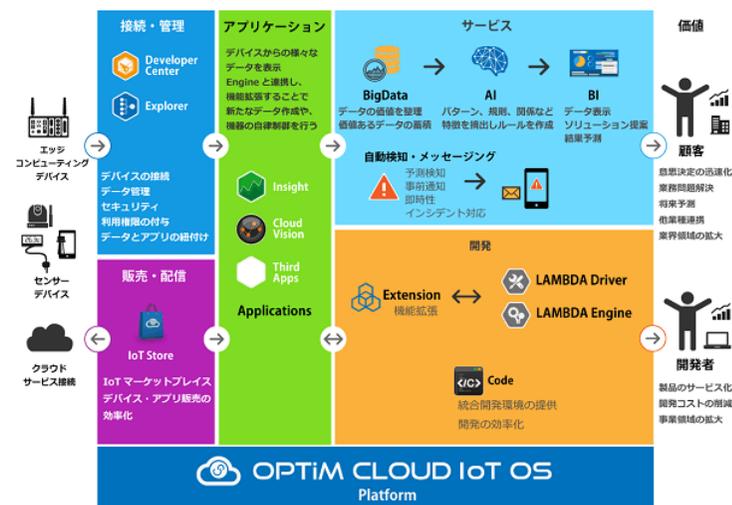
オプティムの役割：

AI・IoT及びCloud IoT OS活用等に関するノウハウの提供

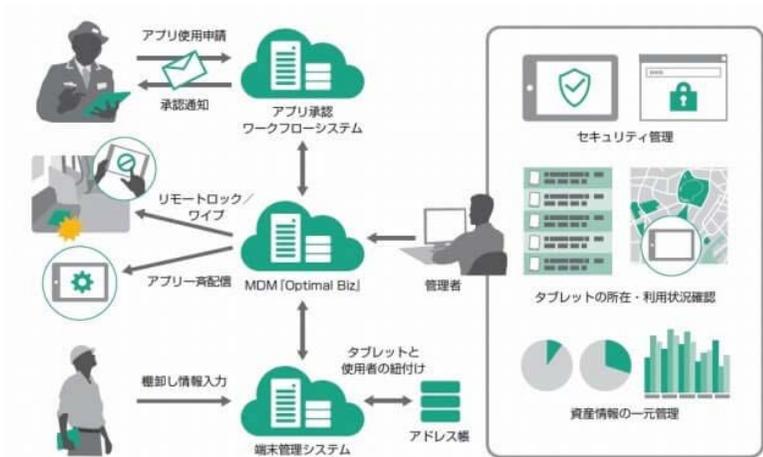
オプティムとパソナテック、AI・IoT分野で業務提携 「OPTiM Cloud IoT OS」を活用した「AI・IoT導入運用支援サービス」を提供



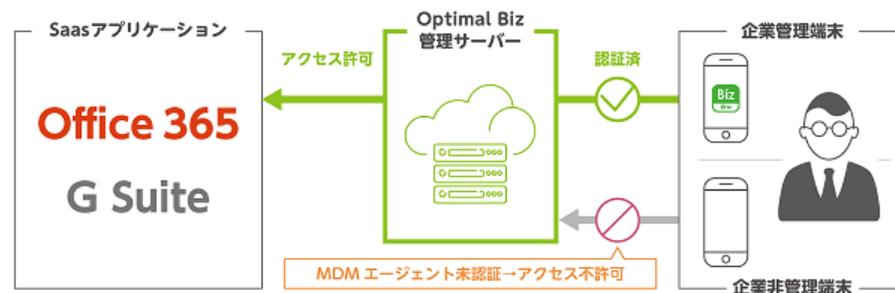
Cloud IoT OSは、あらゆる人に直感的なユーザ体験
 “IoT端末の制御・データ解析・AI・クラウドサービスとの連携”
 を提供するプラットフォームです



JR東日本がiPad 3万7,000台の一元管理を目的に導入した、MDM・PCマネジメントサービス「Optimal Biz」の事例を公開



私物端末アクセスによるシャドーITへの対策を含んだメジャーバージョンアップを実施
～MDM管理端末以外からのOffice 365 / G Suiteの利用を制御～



テクノ・システム・リサーチ発刊の調査レポートにて、2016年モバイル管理市場、9部門中7部門でNo.1を達成



Optimal Biz
2016年モバイル管理市場
9部門中7部門でNo.1を獲得！

出典：テクノ・システム・リサーチ、2017年1月発刊「2016-2017年版 PC/携帯管理/モバイル管理市場のマーケティング分析」

富士キメラ総研発刊の調査レポートにて、文教市場MDMマーケットシェア43.2%を占め、No.1を獲得



出典：富士キメラ総研 2017年3月29日発刊、「エデュケーションマーケット 2017」

クレディセゾンと業務提携し、「セゾンポイントモール アプリ」を提供 国内シェアNo.1のMDM・PC管理サービス「Optimal Biz」で培った セキュリティ技術やノウハウを活用

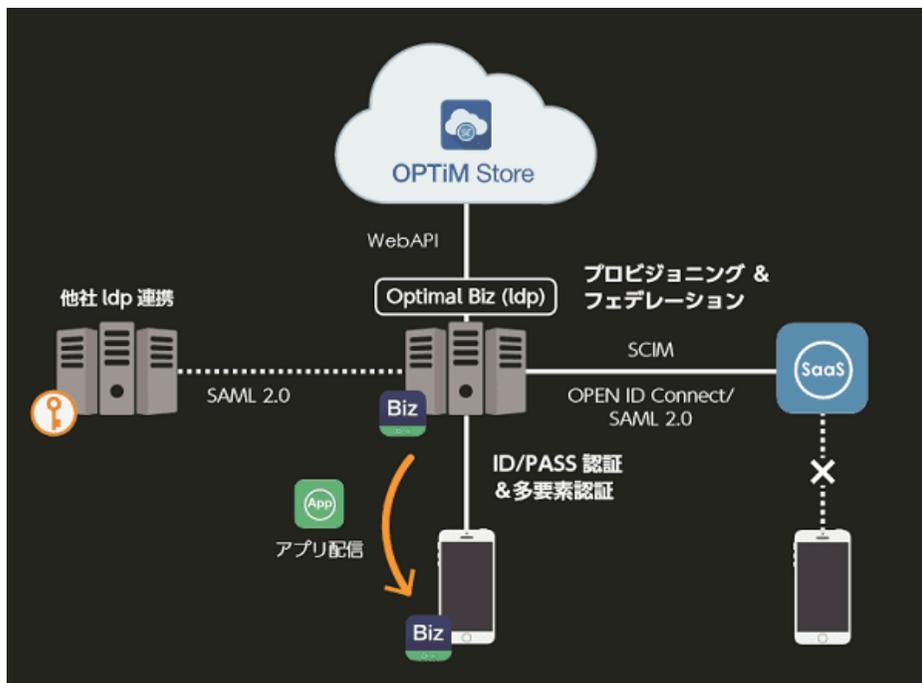


iOS画面イメージ

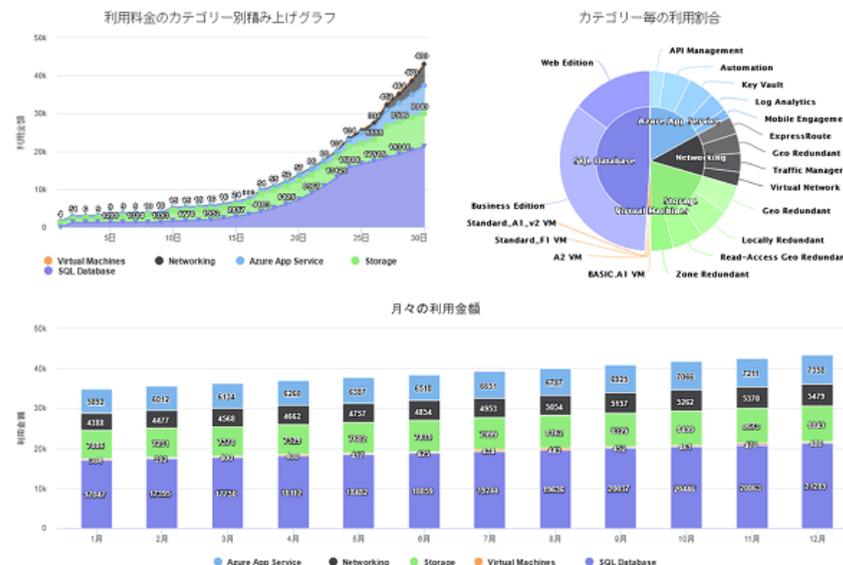


Android画面イメージ

Microsoft CSPパートナーの販売支援機能追加やID連携機能など、標準機能の強化を実施



Office 365販売からシングルサインオンの設定まで自動化を実現

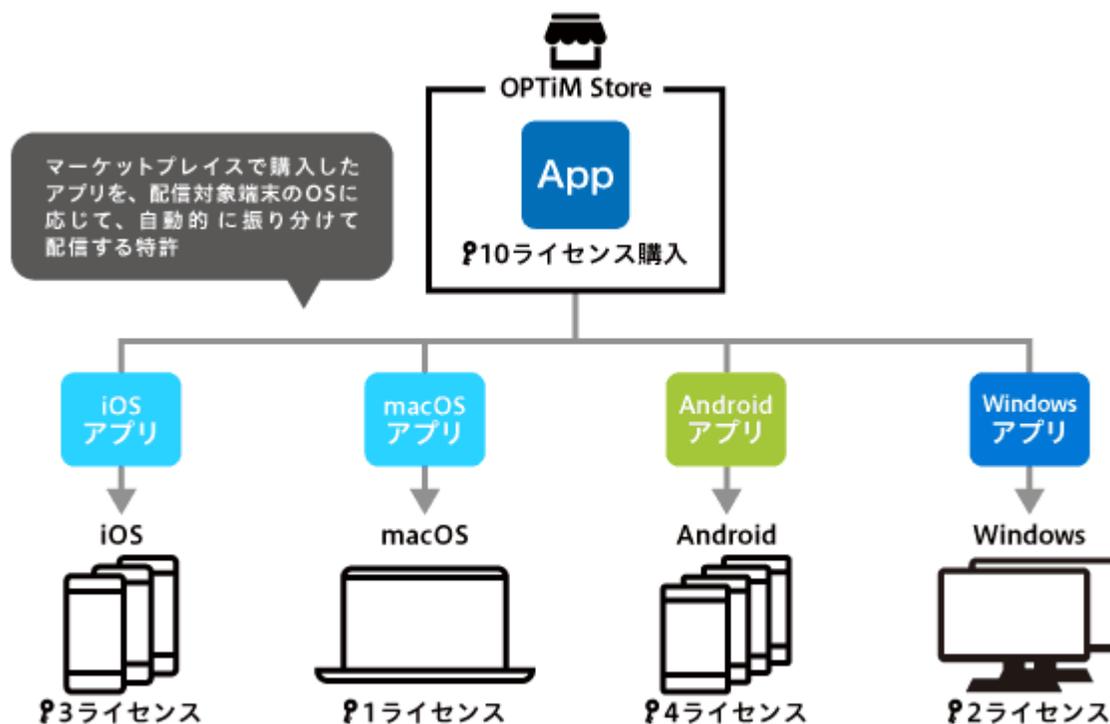


利用状況のグラフ表示イメージ

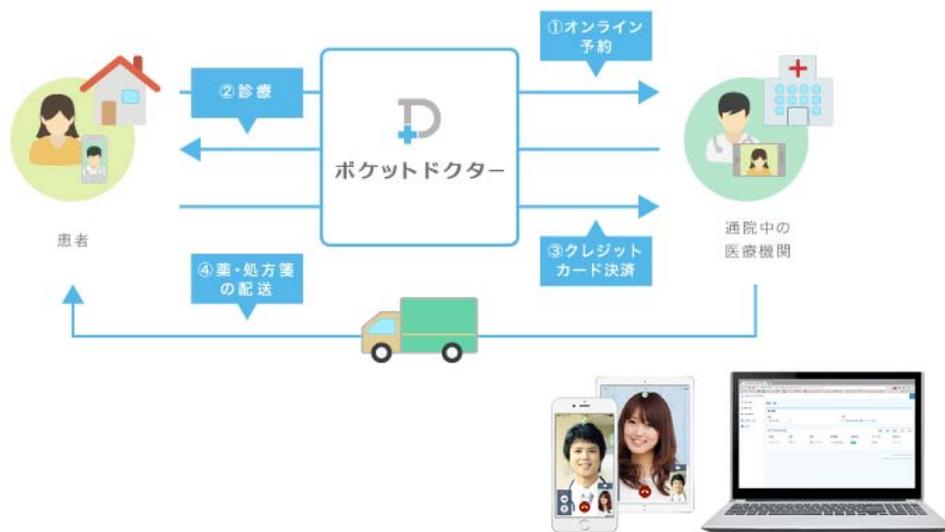
Microsoft Azure販売に対応
「OPTiM Store」上でAzureの販売と利用料金計算ならびに利用状況の可視化が行える

アプリマーケットプレイスの基本概念となる特許を取得

～配信対象端末のOSに応じた、アプリの自動配信を実現～



「ポケットドクター」かかりつけ医診療を刷新し、「遠隔診療ポケットドクター」を有償で医療機関向けに提供開始



「予約」・「オンライン決済」・「薬の配送支援」・
「医療機関向け管理画面」機能を新たに追加

経済産業省推進の IT導入補助金対象サービスに認定



新規導入医療機関は、上限100万円の補助金受領が可能に

「IT導入補助金」とは、経済産業省が委託する事業として、中小企業・小規模事業者等がITツール（ソフトウェア、サービス等）を導入する経費の一部を補助することで、中小企業・小規模事業者等の生産性の向上を目的としております。

オプティムとユニクロがコラボし、
「ユニクロアプリ」へ人気雑誌読
み放題サービス「タブホ」を提供

ユニクロアプリで人気雑誌が無料で読み放題



ユニクロ会員様向けに期間限定で「タブホ」
から厳選した人気雑誌を無料提供

ぴあと業務提携

ぴあ株式会社より
95誌を追加！

- 水族館 ぴあ
- 雑誌 ぴあ
- 珈琲 ぴあ
- 花の絶景 さんぽ旅
- ぴあ Movie Special etc...

人気雑誌 **700** 誌以上が読み放題 **タブホ**

主婦と生活社と業務提携

主婦と生活社より
CHANTO
他 **9** 誌を追加

人気雑誌 **700** 誌以上が読み放題 **タブホ**

多言語版旅行ガイドブック の提供開始

JTBパブリッシング
るぶ『OMOTENASHI Travel Guide』
和デジション
『WAttention』 各シリーズを追加！

外国語コンテンツも読み放題 **タブホ**

「WAttention」シリーズやるぶ多言語版
「OMOTENASHI Travel Guide」シリーズを追加

「タブホ」でお楽しみいただける全ての雑誌コンテンツが、
読み放題サービス国内最大級の700誌以上に

2017年7月3日時点、当社調べ。雑誌の読み放題サービスで閲覧可能な雑誌の数（雑誌数）として。本サービスの性質上、雑誌の数は増減することがございます。



2018年3月期 通期業績見通し

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前年比
売上高	3,314	4,000	120.7%
営業利益	685	1～800	-99.9%～116.8%
経常利益	682	1～800	-99.9%～117.3%
純利益	397	0.62～496	-99.8%～124.7%

- 2018年3月期の業績は、創業来18期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上40億（前年比売上高120.7%）は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、足掛かりとなる1年としていきます。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

OPTiM

www.optim.co.jp

OPTiM